

4 住民参加による災害情報収集技術及び伝達に関する研究

本研究では、各機関で構築されている防災情報システムの運用実態調査を通じて、既存システムの問題点・課題の把握を行い、住民と行政との有効な情報共有に向けた改善策について提案する。また、各種情報収集システムからの減災情報を最寄りの防災拠点・消防本部・自治体等に確実に伝達するための技術開発を行い、地域住民に対して防災情報を適切に周知するための仕組みを開発した上で、その有効性について実証するものである。さらに、各種情報システムより得られた情報を減災情報共有プラットフォームによって共有する技術を開発する。

一方、ウェアラブルPCやGPSなどの各種IT機器やGIS等を活用し、地域の一般住民から防災専門家に至るまで、幅広いユーザーに対応できる柔軟性・汎用性のある防災情報及び伝達技術を開発する。

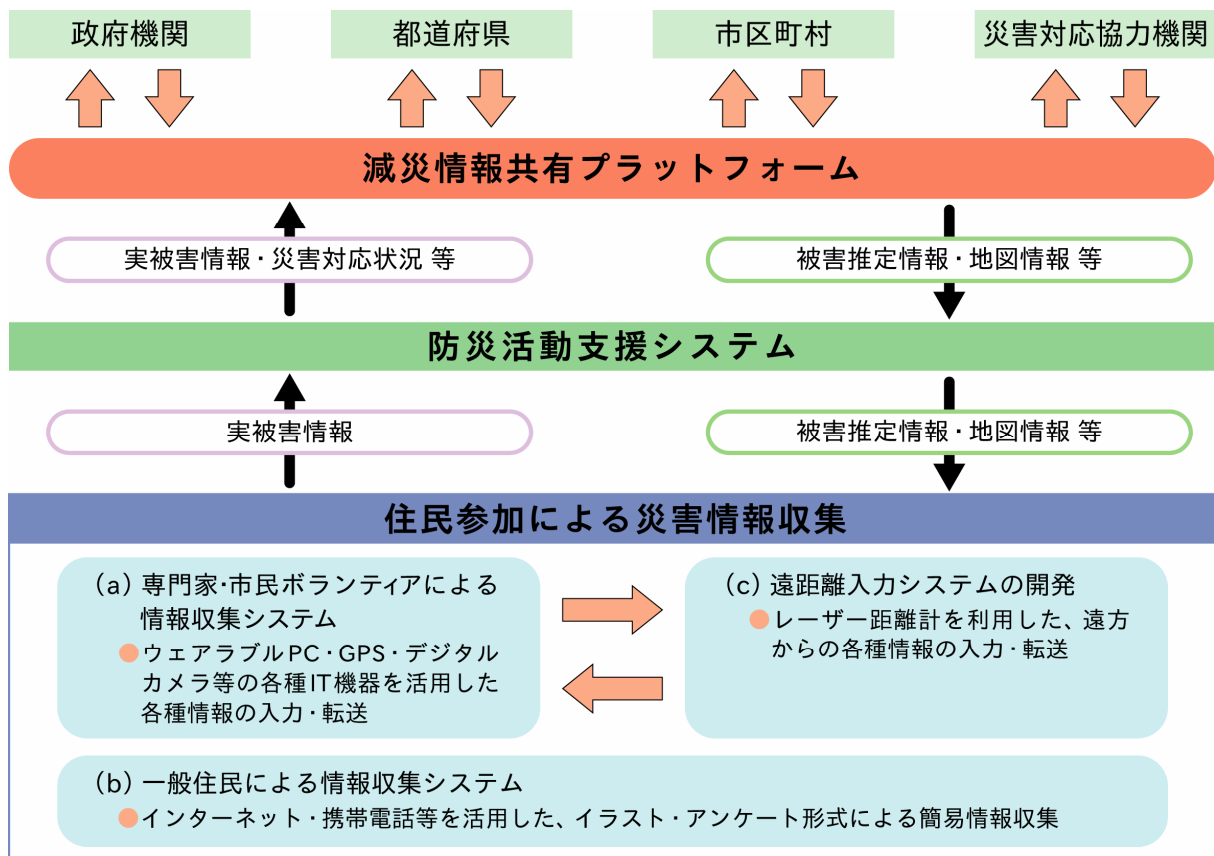


図 4-1 住民参加による災害情報収集技術及び伝達に関する研究減災情報共有のイメージ

本研究を構成するサブ研究テーマと研究機関を、表 4-1 に示す。

表 4-1 本研究を構成するサブ研究テーマと研究担当機関

節	サブ研究テーマ名	研究担当機関
4.1	減災情報システムの実態調査	消防研究所
4.2	共有プラットフォームとの接続技術に関する研究地域	
4.3	各種情報伝達手段の相互利活用技術の開発と検証	
4.4	住民参加による情報収集技術開発に関する研究	工学院大学